

2020年「日本ITU協会賞」受賞

2020年10月6日に開催された「第52回世界情報社会・電気通信日のつどい」において、サービスイノベーション部の青野 博が日本ITU協会賞「功績賞」を、ネットワーク開発部の石川 寛と中島 佳宏、R&D戦略部の奥山 卓、無線アクセス開発部の戸枝 輝朗が日本ITU協会賞「奨励賞」を受賞しました。

日本ITU協会賞は、電気通信／ICTと放送分野に関する国際標準化や国際協力の諸活動において、これまでに優れた功績を遂げられた者ならびに今後の貢献が期待される者に贈呈されるものです。中でも、功績賞は、世界情報社会サミットにおける基本宣言および行動計画の実現および国際標準化、国際協力に関するITU (International Telecommunication Union) などの活動または我が国のITUなどに関連する諸活動に貢献し、その他情報通信および放送の発展に寄与し、その功績が著しい者に贈られます。また、奨励賞は、功績賞に該当する諸活動にすでに参加し、今後これらの領域において継続して寄与することが期待される者に贈られます。

青野は、長年にわたり、3GPP TSG WG SA3 (3rd Generation Partnership Project Technical Specification Group Working Group Service and System Aspects 3) におけるモバイルネットワークのセキュリティ向上に向けた標準化に尽力するとともに、ARIB (Association of Radio Industries and Businesses) を通じ、セキュリティ標準化活動の最新動向を日本の通信業界へ展開することに貢献した功績が認められ、功績賞を受賞しました。

石川は移動通信システムにおけるサービス要求条件・アーキテクチャの専門家として、ETSI TISPAN (European Telecommunications Standards Institute Telecoms & Internet converged Services & Protocols for Advanced Networks) においてはIMS (IP Multimedia Subsystem)*1を移動体アクセス以外でも活用できるよう、3GPPにおいてはDSAC (Domain Specific Access Control)*2の導入・IMSの高度化と5GCプロトコル仕様策定、GSMA (Global

System for Mobile communications Association) においては5Gローミング時の制御に用いるプロファイル仕様策定に大きく貢献したことで、今後の3GPPおよびGSMAへの貢献を期待され、奨励賞受賞となりました。

中島はETSI ISG NFV (Industry Specification Group Network Functions Virtualisation) の副議長として、オペレータやベンダ各社をリードし、NFVの進化の方向性の合意形成や標準化を推進するなど (Release-4 策定に貢献)、標準化団体の運営向上に貢献し、MANO (Management and Orchestration)*3機能群のインタフェース仕様、およびテスト仕様の品質の向上 (開発からのフィードバック) に貢献したことで、将来、さらなるNFVの進化や仮想化基盤を前提とした5Gのネットワークの実現にむけた国際標準化活動への貢献を期待され、奨励賞受賞となりました。

奥山は、3GPPにおけるLTE-Advanced高度化およびNRの標準化において、基地局装置にかかわる各種無線仕様の策定に貢献しました。また、xRAN ForumおよびO-RAN Alliance (Open RAN Alliance) における基地局フロントホールインタフェースの標準化を行い、異なるベンダの装置接続を可能とする標準仕様の策定に貢献し、今後は、標準化活動で培った経験を活かし、グローバルな議論を推進できるリーダー的な人材として、モバイル技術や産業の発展に寄与することを期待され、奨励賞受賞となりました。

戸枝は3GPPにおいて、5G NRのWork Itemラポータとして、5G時代の基地局装置構成に適した無線ネットワークアーキテクチャの標準仕様の策定に貢献し、また、O-RAN Allianceにおいて、マルチベンダ接続を可能とする無線アクセスネットワークのインタフェース仕様の策定に貢献し、今後はこれまでの経験を活かし、さまざまな場において、グローバルに議論を推進するリーダーとして、モバイル技術・産業の発展に寄与することを期待され、奨励賞受賞となりました。



(左から) 奥山, 青野, 石川, 中島

- *1 IMS: 3GPPで標準化された、固定・移動通信ネットワークなどの通信サービスをIP技術やインターネット電話で使われるプロトコルであるSIPで統合し、マルチメディアサービスを実現させる制御通信方式。
- *2 DSAC: 回線交換とパケット交換をそれぞれ独立してアクセス規制する機能。
- *3 MANO: 欧州電気通信標準化機構によって定められた仮想資源マネジメント機能の総称。

本誌に掲載されている社名、製品およびソフトウェア、サービスなどの名称は、各社の商標または登録商標。